



第78号
2024年3月発行

AIRA

ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION (我孫子市国際交流協会 TEL. 04-7183-1231)

「第31回あびこ国際交流まつり」の開催

日時：2023年11月26日（日） 11:00～16:00 ※(ホールは13:00～)

会場：あびこ市民プラザ（ギャラリー、多目的ホール、サロン）

司会者：那 凱鈞さん、倉松 思羽さん、藤崎 清加さん

来場者：約700名

13時からホールにて開会式が行われました。今回は、昨年参加のキプロス共和国に加えて日本ウズベキスタン協会が参加し、国際色豊かなまつりになりました。

司会の那 凱鈞さんの開会で開会式が始まり、北嶋扶美子 AIRA 会長および星野順一郎我孫子市長のあいさつや来賓のヤニス・ミハイリディス駐日キプロス特命全権大使および加藤文彦日本ウズベキスタン協会会長のあいさつがありました。



北嶋扶美子
AIRA会長



星野順一郎
我孫子市長



ヤニス・ミハイリディス
駐日キプロス大使



加藤文彦
日本ウズベキスタン協会会長

開会式に先立ち、ギャラリー会場では11時に開場しました。九つのブースに分かれ、国を紹介するポスターなどが飾られ特産物、お土産品などが展示・販売されていました。試食・試飲が出来るブースもあり、来場者で混みあっていました。



ギャラリー会場



来賓

(駐日キプロス大使夫妻・ウズベキスタン協会会長夫妻・関元駐キプロス大使)

また、サロンでは、開会式に先立ち中根宗節先生（裏千家）によるお茶席が設けられ、来場者が日本文化を体験していました。



お茶席

和室でも外国人を対象にした着物体験として鈴木徳枝先生とお弟子さんが着付けを行っていました。

【ホールでの演技】

- ①カッパダンスキッズによる「子どもヒップホップダンス」は、リズムカルな曲に合わせて会場狭しと踊り、にぎわいを演出しました。
- ②日本語土曜クラスの学習者は、歌（ふるさと、Greatest Love All）、ダンス「ソーラン節！」およびベリーダンスを演じ、中央学院大学留学生の参加もあり、国際色豊かな演技でした。
- ③NEC グリーンロケッツ東葛のラグビー選手 2 名（ティアン・スワネポール選手、イカ・モツラロ・タカウ選手）は、ラインアウトから投げられたボールをリフティングして捕球する体験会を行いました。子どもたちが列を作り、楽しんでいました。
- ④筑波大学フォルクローレ愛好会の学生による「フォルクローレ」の音楽は、アンデス高原や澄み切った空を思い浮かべ心にしみるものでした。
- ⑤スペイン語サロンの生徒の合唱は、スペイン語で歌い日ごろの成果を発揮していました。
- ⑥中央学院大学留学生周 師宇さんと劉 語涵さんによる「ひょうたん笛の演奏と踊り」は、ひょうたん笛の透きとおった音色に踊りを交えた演奏でした。
- ⑦Abiko Rejoice Gospel による「ゴスペル」の歌声は、場内に響き渡る力強い歌声と笑顔に満ちた動作を伴い観客を魅了しました。



外国出身者の着物姿

なお、AIRA の「山階鳥類研究所によるアホドリ復活作戦」を支援する活動の一環として、会場内に設けた「アホドリ募金」に 10,288 円集まりました。後日、その他での寄付を合わせ山階鳥類研究所に寄付いたしました。

「イヤーエンドパーティー 2023」開催

日時：2023 年 12 月 9 日（土） 18：30～20：40

会場：あびこ市民プラザ多目的ホール

参加者：35 名

コロナ禍で中止になっていたイヤーエンドパーティーが 4 年ぶりに開催されました。アルコール類の差し入れやパーティー中の一芸披露など自由でフランクリーな会員の親睦会です。軽食やソフトドリンクのほか、キプロスワイン“Fikardos”や国産ウイスキーのアルコール類、日本のゆべしに似たデザート（トルコのロクムに似たもの）などが持ち込まれていました。

参加者の自己紹介の後、歌や芸の出し物が始まりました。

出場希望者が次から次へと続き、予定の時間を大幅に超えて終わりました。



英会話教室の高橋さん、アカペラで独唱「瑠璃色の地球」



スペイン語サロンで学ぶ生徒の歌「Caminito」



出席者を巻き込んだ踊りもありました



イヤーエンドパーティーの会場



日本語教室フィリピン出身者が歌う「メリークリスマス」



中央学院大学の会員グループが歌う

AIRAの活動に参加して

中央学院大学 邢 凱鈞 けい がいきん

中央学院大学の留学生、邢凱鈞です。日本に来てから約2年が経ちました。第22回スピーチ大会で司会を務めたことがきっかけで、AIRAでのボランティア活動を始めました。今年はAIRAで多くの活動に参加しましたが、特に「第31回あびこ国際交流まつり」、「ジャパンバードフェスティバル」、そして「イヤーエンドパーティー」が印象的でした。これらのイベントを通じて、文化の多様性と国際交流の重要性について深く理解する機会を得ました。異文化への理解を深め、世界各国の人々とのつながりを育むことができたのは、非常に有意義な経験でした。

私は第31回あびこ国際交流まつりで、司会を務めるとともに中国ブースの設営を手掛けました。実行委員会における唯一の外国人メンバーとして、毎月開催される会議で自分のアイデアを提案する機会を持ち、実行委員としての責任を深く感じました。あびこ国際交流まつり当日では、世界各国の文化に触れることができ、国際理解の重要性を学びました。様々な国の文化、食べ物、ダンスを体験することで、文化の多様性とその背景にある歴史や価値観を理解することができました。また、言葉の壁を超えて心を通わせる経験は、国際交流の真の意味を感じました。異文化交流を通じて、異なる背景を持つ人々との共通点を見つける喜びを感じると同時に、互いの違いを尊重し、受け入れることの大切さを意識しました。



AIRAまつりで千葉大生と共に司会を担当



AIRAまつりで日本語教室生徒とCGU学生合同でダンス「ソーラン節」を踊る



ジャパンバードフェスティバル「上海ブース」で通訳として参加

日本最大の鳥のイベント「ジャパンバードフェスティバル」が我孫子市で開催され、私は中国・上海のブースで二日間の通訳を務めました。この活動を通して野鳥について多くを学び、自然環境を守ることの大切さを実感しました。ジャパンバードフェスティバルでは、自然保護と生物多様性の保全の重要性について深く学びました。野鳥観察や保護活動に参加することで、私たちの生活環境がいかに多くの生物にとって重要な役割を果たしているかを実感しました。また、環境変化が野鳥に与える影響について学び、環境保全のために私たちができることについて考えさせられました。このフェスティバルを通じて、自然との共生の重要性を理解し、日々の生活の中で環境に配慮した選択をすることの意義を改めて感じました。



イヤーエンドパーティーで中央学院大の仲間と自己紹介

「イヤーエンドパーティー」では、一年の終わりを各国の人々と共に祝い、新年に向けた希望と友情を共有することができました。このイベントでは、国際交流が深い友情や理解を築く基盤になることを実感しました。また、様々な背景を持つ人々との会話からは、異なる視点や考え方を学び、自身の視野を広げることができました。イヤーエンドパーティーにおける留学生による「時の流れに身をまかせ」の歌のパフォーマンスは、特に印象的なハイライト

でした。言葉の壁を越えて心を通わせる音楽の力を改めて教えてくれました。この歌は、日本語と中国語のバージョンで披露され、非常に感動的でした。このパフォーマンスは、参加者全員にとって忘れがたい記憶となり、私自身にとっても、中国の文化を紹介し、他文化を学ぶ機会だと思えます。

AIRAは、異なる文化的背景を持つ人々が集い、互いの文化や価値観を共有するための素晴らしいプラットフォームを提供しています。こうしたネットワークの機会を通じて、私たちは互いに学び合い、多様性の中に共通の価値観を見出すことができます。私にとって、こうしたイベントは興味深い経験だけでなく、異文化への理解を深め自己成長を促す重要な機会でもあります。このような経験はお金では買えない価値だと思えます。今後もAIRAの活動を支援し、参加していきたいと思えます。いつもありがとうございます！

第31回 あびこ国際交流まつり

The 31st Abiko International Festival

～友好を翼にのせて～

日本語土曜クラス生によるダンス「ソーラン節」は場内探しと踊っていました

カッパダンスキッズによるヒップホップダンスは、まったりと賑わいもたらす恒例の演技です



Abiko Rejoice Gospel によるゴスペルの歌声は、場内に響き渡る力強い歌声と笑顔に満ちた動作を伴った観客を魅了しました

ティアン選手から授けられたボールを、イカ選手らにリフトアップされて受ける子どもたち (NECグリーンロケッツ東愛)

特訓で学んだ日本語土曜クラス生のペリヤーダンスは見たえのある踊りでした

司会担当・倉松忍羽さん・藤崎清加さん・市野朝霞さん

4年ぶりに復活しました (抽選会)

透み切ったアンダンスの空をよみがえらせる筑波大学フォルクローレ愛好会によるフォルクローレの演奏

日本語土曜クラス生は「Greatest Love All」(独唱)と「ふるさと」(合唱)を歌う

中央学院大留学生によるひょうたん缶の演奏と踊り

お茶席で来賓の方と記念撮影

スペイン語サロン先生・生徒が原語で奏する「Caminito」の曲

キッズコーナーにラグビー選手が訪れました

入口にある韓国アースでは韓国語講座の先生と生徒が民族衣装でお出迎えています

キアロスアースの大使館職員と市議員

伝統のキアロスワインを試飲する来場者 (キアロスアース)

入口で来場者受付担当の市の職員

ドイツ語講座で運営するドイツアースにはサンタクロースの折り紙体験も有りました

スペイン語サロンで運営するチリアアース

ウズベキスタンの国・伝統商品などを展示紹介するウズベキスタン協会のアース

フランス語講座のフランスアースでは、手造りフランスパンは今年も発売

日本語を学ぶ外国出身者が運営するAIRA'sy

英会話上級クラスで運営するイギリスアース

中央学院大留学生による中国アースでは、中国なんでも相談OKです

キアロス大使夫妻にお茶について英語で解説する (お茶席)

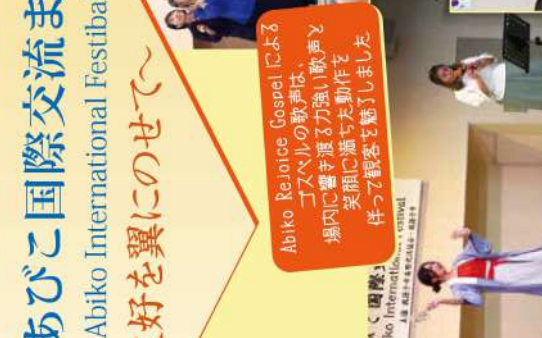
チケット売場

着物着付け受付の日本語ボランティア講師

お茶席売場を担当する中央学院大生

日本語土曜クラス生によるダンス「ソーラン節」は場内探しと踊っていました

カッパダンスキッズによるヒップホップダンスは、まったりと賑わいもたらす恒例の演技です



キッズコーナーにラグビー選手が訪れました



英会話上級クラスで運営するイギリスアース

キッズコーナーでお手伝いのガールスカウトのお姉さんと遊ぶ子どもたち

お茶席にラグビー選手が訪れました

中央学院大留学生による中国アースでは、中国なんでも相談OKです

キアロス大使夫妻にお茶について英語で解説する (お茶席)

日本語土曜クラス生は「Greatest Love All」(独唱)と「ふるさと」(合唱)を歌う

中央学院大留学生によるひょうたん缶の演奏と踊り

お茶席で来賓の方と記念撮影

スペイン語サロン先生・生徒が原語で奏する「Caminito」の曲

フランス語講座のフランスアースでは、手造りフランスパンは今年も発売

日本語を学ぶ外国出身者が運営するAIRA'sy

英会話上級クラスで運営するイギリスアース

中央学院大留学生による中国アースでは、中国なんでも相談OKです

キアロス大使夫妻にお茶について英語で解説する (お茶席)

チケット売場

着物着付け受付の日本語ボランティア講師

お茶席売場を担当する中央学院大生

伝統のキアロスワインを試飲する来場者 (キアロスアース)

入口で来場者受付担当の市の職員

「外国にルーツを持つ小中学生と保護者のための進路フェア in 我孫子」

日時：2023年10月14日（土）13：30～16：30 会場：我孫子市市民プラザ多目的ホール

主催：NPO 法人 Amigo Project・グリーバルコミュニティまつど・NPO 法人 glolab（3団体のコンソーシアム）

共催：AIRA、NPO法人 ACOBA 後援：我孫子市、我孫子市教育委員会

<主催団体について>

主催者の Amigo Project は流山市に拠点を置く NPO 法人です。その設立目的は、日本在住外国人と日本人の相互理解のための事業を行い、外国人と日本人が共に「学ぶ・楽しむ・共存する」機会を作るほか、暮らしや教育、職業等の情報発信を行うことでグローバルな社会づくりに寄与することです。

Amigo Project は、親の都合で日本に連れて来られ、この地で暮らす「外国にルーツを持つ児童・学生たち」の環境が日本人に比べてハンディがあることに焦点を当て、彼らをサポートしている団体です。

<開催趣旨>

子どもたちは柔軟に日本に溶け込んで言葉をマスターしても、親が日本語を読めないため学校のプリントが理解できない、先生とのコミュニケーションが取れない、進学情報が入ってこないなどで、自分の子どもの進路に悩みを持っています。この現状を改善し、外国にルーツを持つ子どもたちのキャリアを広げるために、今回の進路フェアが企画されました。

<講演について>

代表理事のカルロスさんは、14歳でペルーから来日し、千葉県茂原市の中学校と千葉県立高校を卒業しました。その後、工場勤務や旅行会社勤務を経て自分の道を切り開いてきました。基調講演「自分の未来をデザインする」ではそんな彼の経験が語られました。

Part2では、子どもと親（保護者）に分かれて行われました。

①小中学生向けのワークショップでは、「自分の未来をデザインしてみよう」というテーマで、参加した児童・学生たちが自分の好きなことややりたいことを思い思いに伸び伸びと紙に描いて自分の将来を語り、アドバイスを受けたりしていました。

②保護者向けのガイダンスでは、日本の教育制度についての説明がありました。スライド資料を使って日本の教育の種類（公立、私立など）、学校の費用、奨学金などの説明をし、親（保護者）は熱心に聞いていました。

また専門家が待機する個別の相談ブースも「高校受験」「お金の相談」「在留資格」と3つ設けられ、相談する親（保護者）も見られました。

AIRA は日本語教室で学ぶ学習者に呼びかけ、合わせて約 30 人の参加がありました。この事業は国の「休眠預金活用事業」の「資金分配団体」である NPO 法人 ACOBA が、一般に公募した事業の中から審査を経て採択となって行った事業の一つです。Amigo Project は今後も他市で同様の進路フェアを行うとのことです。



基調講演「自分の未来をデザインする」で自分の体験を語る上村カルロスさん



保護者向けワークショップ「日本の教育制度」



小中学生向けワークショップ「未来をデザインする」



休眠預金を活用した事業です

休眠預金を活用した事業のシンボルマーク

AIRA バス研修に参加して

菅原 英雄



2023年10月19日木曜日、午前8時15分に我孫子ふれあい広場に集合し、クリーンセンターに向け出発しました。約15分ほどで到着しました。よく体育館には来ることがありますが、今回は一つ手前を右折し、白亜のビルがそびえている場所にやってきました。煙突の高さは59mあります。エレベータで3階へ案内され、ごみの搬入から終末の処理までの過程について説明を受けました。1日約120トンのごみ処理能力があり850℃以上の高温で焼却され、高圧の蒸気でタービンを回し最大約2000キロワット（約4000世帯分）の電力を発電できるそうです。施設は24時間稼働しており制御室でコントロールされています。発電した電気は余剰を売電し非常時は自力で施設を稼働させることができるそうです。利根川の近くにあるため水対策も行われています。重要な設備は2階以上に配置されています。

地域のごみの処理に関しては皆さん関心があるのではないのでしょうか。以前イタリアのナポリを訪れた際、ストライキで町中がごみの山になっている光景を目の当たりにしました。自分の住んでいる場所がこんな状態になったら大変だと思いました。規模が大きく悪臭がただよび、生きている気がしませんでした。一度センターを訪れて見て下さい。素晴らしさが分かると思います。

その後、バスは国道6号を筑波ハムの工場に向かいました。こじんまりとした清潔な工場で、ハム、ソーセージの他ヨーグルトもつくっていました。そしてなぜかハムではなく直売所“陣屋”でせんべいを買ってしまいました。



ゴミと環境について

いよいよランチの時間です。“PENNY LANE”というレストランで料理はハンバーグをいただきました。焼きたてのパンがおかわり自由でした。食後はモールを散策し、楽器屋さんを見つけました。探していた音楽本があり迷わず購入し、お店の人に「いい曲ですね」と言われてすごく幸せな気持ちになりました。途中農産物直売“ポケットファーム”に立ち寄り、最後は我孫子へと向かいました。スタッフの皆様ありがとうございました。AIRAはボランティアで成り立っていることを強く感じました。



PENNY LANEでの食事

異文化理解講座

「住んでみたイラン～イランの人はどんな暮らしをしているの？」

異文化理解講座担当 荒井 むつみ



司会の
荒井むつみさん

2023年12月17日、今年度2回目の異文化理解講座を開催しました。今回は「住んでみたイラン～イランの人はどんな暮らしをしているの？」をテーマに、あまり知られていないイランについての講座です。

講師はイランに20年余り暮らし、イランの国際放送でアナウンサー・翻訳家として勤務された山口雅代さんと、ご主人のソルターニー・マジットさんです。山口さんの撮られたたくさんの写真を見ながらのお話しは、イランのイメージが乾いた土地と石油、イスラム教ぐらいしかなかった私には驚きの連続でした。

イランは日本とほぼ同じ緯度にあり、四季がある。日本の4倍の国土の面積を持ち、北はカスピ海、南はペルシャ湾に挟まれ、広大な砂漠、森林地帯、田園地帯もある。雪も降り、高地にはスキー場がある。海では海水浴も楽しめる。主食はパン（ナン）だが、米も食べるので水田もある。春に行われるお正月には健康や富を表す7つの縁起物が飾られ、家族が集まってお祝いをする。ウズベキスタンなど～スタンのつく国、アゼルバイジャンなどはかつてペルシャ帝国の領土であった。イスラム教の国と思いがちだが、キリスト教、ユダヤ教、ゾロアスター教も認められている。ラマダンの時の食事は寄付として大勢の人にふるまわれる。日本のドラマ「おしん」は大変人気があった、等々。

講義終了後は「経済制裁時の人々の生活」、「なぜイランの人々は親日的か」、「女性のスカーフのこと」など質疑応答が行わ



家族団らん

れました。話が弾んで予定時間を超過しましたが、普通ではなかなか知ることのできないイランの、特に市井に暮らす人々の生活について大変興味深いお話を聴くことができ、貴重な時間となりました。

講師の山口さんご夫婦に深く感謝申し上げます。



田植え

Information

1 メールでの情報希望者の受付開始

1月のお手紙でお知らせしましたが、2月から送料改定に伴い、手紙による連絡回数を減らすことになり、イベント等の情報提供をタイムリーに出来なくなります。そのため、最新の情報はHPでお知らせしますので、HPをご覧ください。

また、新たにメールによるお知らせを始めます。希望する方は事務局に会員番号とお名前をメールでお知らせ下さい。事務局からお知らせをメールでお送りいたします。4月1日から希望者の受付を開始します。下記のアドレスまでご連絡ください。 aira.kouza@gmail.com

2 「日本語の教え方講座」開講

来日する外国人が増えています。我孫子市でも例外ではなく、AIRAの日本語教室や、市内小中学校に編入の児童生徒も増えています。今、日本語を指導のためのボランティア講師が不足しています。そこで日本語講師養成の「日本語の教え方講座」開講します。詳細は決まり次第HPに掲載します。

3 日本語ボランティア募集

現在我孫子市では外国人の方が増え、日本語を学習したい外国人も増えています。過去に日本語講師養成講座を受講したが現在活動されていない方、日本語教師の資格がある方など、AIRAの日本語教室で活動してみませんか？



4 各部会員募集

AIRAでは、5部会が活動運営しています。現在部会員が不足し運営に影響を及ぼしています。一緒に企画運営をしてくれる会員を募集します。HPの「部会の紹介」をご参考に、ご応募ください。

<https://www.e-aira.jp/index.php/ja/about-aira/greeting-3>



5 研修部会「異文化理解講座」スタッフ募集

研修部会では、外国語講座の企画運営の他に、異文化理解講座を年1~2回実施しています。この講座は、外国出身の方や、長年海外に住んで帰国された方などから、出身国、駐在国の文化や、教育、料理など一般の生活面的な内容を話していただきます。異文化理解講座に興味のある方は事務局までご連絡下さい。また身近に、異文化講座の講師となれる方がいましたらご紹介ください。

6 ロシア語同好会参加者募集

ロシア語同好会は、毎月1回日曜日の13:30~15:00まで市民プラザ会場をメインに開催しています。見学可能です。ご興味ある方は事務局までご連絡ください。

7 会員の情報コーナー

会員の皆様にお届けしているAIRAカレンダーに、ご希望の情報を掲載いたします。例えばプリンターを買い替えて不要になったカートリッジを譲ります等お気軽にmailで事務局までご連絡下さい。

(※内容によっては掲載できない場合もあります)

編集後記

AIRAと会員の皆さんを結びつける手段には、会報誌の他年10回発行しているニュースレターがあります。これが送料の値上がりにより財政難のAIRAを襲い、やむなく年4回になりました。もう一つの手段にはホームページです。HPは9年前に現在のバージョンで作成されましたが、昨年そのサポートが終了しました。改定が急がれています。

現在の社会で、HPは組織が存在する証であり、組織内外とのコミュニケーション手段であり、会員への情報提供手段にもなっています。組織の社会的信用を得る重要な要素でもあります。様々なSNSがある中で、HPは「ストック型」でSNSの「フロー型」より情報提供などの持続性が高いと言われています。AIRAの継続的事業展開にHPの管理を所掌している広報部会では責任の重さを感じます。



我孫子市国際交流協会 ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-11-1 あびこ市民プラザ内 土・日も開いています(木曜定休)
Tel: 04-7183-1231 Fax: 04-7183-2005 URL: <http://www.e-aira.jp> E-mail: info@e-aira.jp